



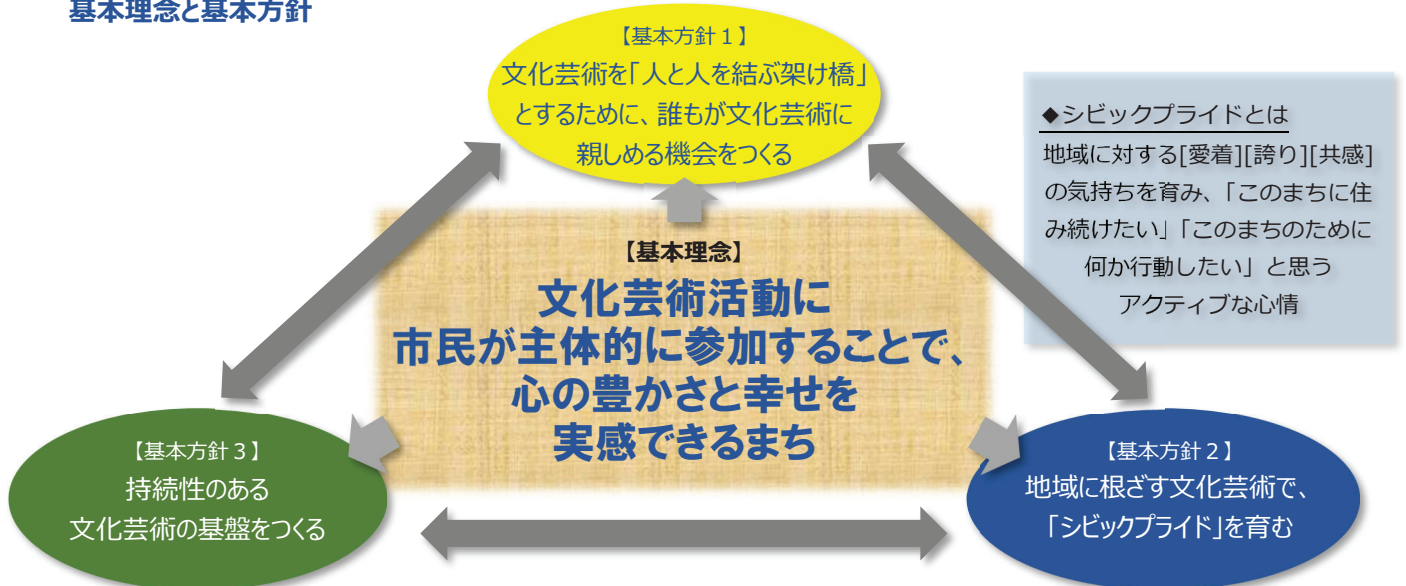
# 安城市 文化振興 計画

(概要版)



**目的** 本市ならではの特性を活かし、文化芸術の振興によって心の豊かさや幸福感につなげていくため。  
**計画期間** 2021年(令和3)から2030年(令和12)の10年間とします。  
 また、5年が経過した2026年(令和8)に中間見直しを行います。

## 基本理念と基本方針



課題

- 《現状・市民意向から見た課題》
- 参加型の文化芸術活動へ
  - 「行ってみたい」と思える歴史・文化芸術施設の魅力向上
  - 文化協会などの既存団体への参加者減少への対応
  - 伝統芸能・有形文化財の次世代への継承・教育現場における文化芸術の取り組み
  - 文化芸術に触れる機会増加
  - だれでも文化芸術を享受できること
  - 職業芸術家の活躍機会確保と地元住民との交流拡大
  - 施設の運用や活用のマネジメントの向上

- 《文化芸術を取巻く社会潮流から見た課題》
- 9 我が国をめぐる社会的動向への対応課題
- 9-1 新たなコミュニティの絆の形成
  - 9-2 伝統文化の担い手確保・学校教育における機会確保
  - 9-3 少子・超高齢社会への対応
  - 9-4 文化芸術施設、文化財の防災性確保
  - 9-5 多文化共生・社会包摂
  - 9-6 ICTの適切な活用
  - 9-7 地域資源を活かしたコミュニティの活性化
- 10 ウイズ・コロナ／ポスト・コロナでの文化芸術活動における課題
- 10-1 感染防止対策
  - 10-2 社会にとっての文化芸術の重要性の認識
  - 10-3 人とのつながり、対面活動の重要性の認識
  - 10-4 リモートによる新たな表現や情報発信

- 《本市の地域特性から見た課題》
- 11 中心市街地に集中する拠点文化芸術施設のネットワーク
  - 12 市内各所に分散立地する芸術施設のアクセス改善
  - 13 「日本デンマーク」時代の遺産の活用をはじめ、歴史的資産の有効活用

基本理念と基本方針

**基本理念**  
**文化芸術活動に**  
**市民が主体的に参加することで、**  
**心の豊かさと幸せを**  
**実感できるまち**

基本方針 1  
**文化芸術を「人と人を結ぶ架け橋」とするために、誰もが文化芸術に親しめる機会をつくる**

- 文化芸術への出会いのドアを開く
- 年齢の節目ごとや立場の違いによる多様なニーズへの対応

基本方針 2  
**地域に根ざす文化芸術で、「シビックプライド」を育む**

- 文化芸術を巡って歩けるまち
- アーティストと市民ファンがつながるまち

基本方針 3  
**持続性のある文化芸術の基盤をつくる**

- 次世代への継承
- 「情報」と「場」の提供と、よりよい「仕組み」づくり

施策

- 1 **文化芸術活動が活性化するための人づくり**（ヒューマン施策）
- 会の運営能力（アートマネジメント）の向上
  - 他分野・他団体との交流
  - 発表場所・活動場所などの拡大
  - アウトリーチ（出張活動など）の推進

- 2 **誰でも文化・芸術活動に参加し、継続していただけるための仕組みづくり**（ソフト施策）
- 会の運営能力（アートマネジメント）を向上させる仕組みづくり
  - 情報発信・受信のあり方の整備
  - 鑑賞後、感動を次につなげる工夫
  - 発表機会（イベント）や活動場所確保のための誘導
  - 専門家（学芸員）からの指導
  - 長期的視野に立った文化芸術振興専門家の育成の調査研究
  - 学校と地域の協働による活動機会の確保
  - 他分野・他団体との交流・協力促進
  - 文化芸術に触れる機会の増加・拡大の検討
  - 文化芸術分野の調査研究の進展
  - 効果的な事業運営のあり方の調査研究
  - 感染症と共存した文化芸術のあり方の提示

- 3 **文化・芸術活動を長期的に支える環境づくり**（ハード施策）
- 発表場所・練習場所の確保
  - 乗り合わせなどによる移動手段の確保
  - 市民協働による歴史博物館のリニューアルの調査研究
  - 未来の文化芸術活動を担保する十分な収蔵施設の調査研究
  - 史跡整備による歴史まちづくりの実施
  - 市民協働による歴史的建造物などの保存・活用・整備の調査研究
  - 長期的に市民に支持される施設のあり方の調査研究
  - 文化芸術活動における感染症対策の実施

アクションプログラム（期別の段階的な実施方針）

	I 初動期	II 発展期	III 成熟期
1 (1) 会の運営能力（アートマネジメント）の向上	●→→→→	●→→→→	●
1 (2) 他分野・他団体との交流	●→→→→	●→→→→	●
1 (3) 発表場所・活動場所などの拡大	●→→→→	●→→→→	●
1 (4) アウトリーチ（出張活動など）の推進	●→→→→	●→→→→	●
2 (1) 会の運営能力（アートマネジメント）を向上させる仕組みづくり	●→→→→	●→→→→	●
2 (2) 情報発信・受信のあり方の整備	●→→→→	●→→→→	●
2 (3) 鑑賞後、感動を次につなげる工夫	●→→→→	●→→→→	●
2 (4) 発表機会（イベント）や活動場所確保のための誘導	●→→→→	●→→→→	●
2 (5) 専門家（学芸員）からの指導	●→→→→	●→→→→	●
2 (6) 長期的視野に立った文化芸術振興専門家の育成の調査研究	●→→→→	●→→→→	●
2 (7) 学校と地域の協働による活動機会の確保	●→→→→	●→→→→	●
2 (8) 他分野・他団体との交流・協力促進	●→→→→	●→→→→	●
2 (9) 文化芸術に触れる機会の増加・拡大の検討	●→→→→	●→→→→	●
2 (10) 文化芸術分野の調査研究の進展	●→→→→	●→→→→	●
2 (11) 効果的な事業運営のあり方の調査研究	●→→→→	●→→→→	●
2 (12) 感染症と共存した文化芸術のあり方の提示	●		
3 (1) 発表場所・練習場所の確保	●→→→→	●→→→→	●
3 (2) 乗り合わせなどによる移動手段の確保	●→→→→	●→→→→	●
3 (3) 市民協働による歴史博物館のリニューアルの調査研究	●→→→→	●→→→→	●
3 (4) 未来の文化芸術活動を担保する十分な収蔵施設の調査研究	●→→→→	●→→→→	●
3 (5) 史跡整備による歴史まちづくりの実施	●→→→→	●→→→→	●
3 (6) 市民協働による歴史的建造物などの保存・活用・整備の調査研究	●→→→→	●→→→→	●
3 (7) 長期的に市民に支持される施設のあり方の調査研究	●→→→→	●→→→→	●
3 (8) 文化芸術活動における感染症対策の実施	●		

\* 太字は重点施策



アクションプログラム（期別の段階的な実施方針）について

- 初動期：当面最優先で行うこと
- 発展期：概ね5～10年以内に行うこと
- 成熟期：10年ないしそれ以降に目指すこと



## 重点施策

### 重点施策1【交流・連携・発信につながる運営能力の向上】

- ・専門家の指導によるアートマネジメント学習（文化芸術に携わる個人、団体、行政などが、それぞれの役割を持ちつつ連携できる運営能力の向上） 施策：1(1)、2(1)
- ・文化芸術団体の交流促進 施策：1(2)、2(8)

### 重点施策2【活動場所の有効活用と再発見】

- ・既存施設（公民館・福祉センター・ホール）のネットワークによる有効活用 施策：1(3)、2(4)、3(1)
- ・史跡、地域イベント、地域の施設など公共空間の新たな利活用 施策：1(3)、2(4)、3(1)
- ・歴史、文化芸術をめぐる「まち歩き」の促進 施策：2(9)

### 重点施策3【文化芸術に関わる人の増加と次世代を担う子どもたちへの支援】

- ・「文化芸術との出会いの場と機会」の増加 施策：1(4)、2(9)
- ・鑑賞体験、創作体験に関わる参加者の増加 施策：2(3)
- ・学校教育との連携や学校と地域の連携の促進 施策：2(7)

### 重点施策を支える 交流基盤づくり

- ・個人、団体、地域、行政などが情報交換をし、協働の可能性を模索できる場づくり

- ・ウィズ・コロナ／ポスト・コロナへ向けた文化芸術に関わる者の情報共有と連帯

### 【感染症と共存する文化芸術の振興】

- ・安全安心の確保 ・感染症下における文化芸術活動の継続と、長期的な持続へ向けた提案 施策：2(12)、3(8)

## 成果指標

指 標	基準値 (2019年度)	中間目標 (2025年度)	最終年 (2030年度)
文化芸術グループへの新規加入者数（10団体サンプリング調査） 【重点施策1】【重点施策3】	0人	20人	30人
文化芸術グループの他団体との交流回数（10団体サンプリング調査） 【重点施策1】	0回	20回	20回
アートマネジメント講座への参加者数 【重点施策1】	0人	50人	80人
4ホール（市民会館・文化センター・アンフォーレ・昭林公民館）の利用件数（文化芸術関係に限る） 【重点施策2】	288件	300件	315件
新たな活動場所を得ることのできた文化芸術グループ数（10団体サンプリング調査） 【重点施策2】	0件	5件	8件
安美展における応募者数（5年間平均） 【重点施策3】	482人	490人	500人
eモニターアンケートなどで「文化芸術活動グループに現在参加している人の割合」 【重点施策3】	10.3%	12.5%	15.0%
eモニターアンケートなどで「歴史・文化に愛着や誇りを感じている人の割合」*総合計画指標 【重点施策3】	38.3%	44%	49%
文化財関係事業参加者数及び歴史博物館入館者数 *総合計画指標 【重点施策3】	98,782人 (2018年度)	99,000人	101,500人
文化芸術関係事業参加者数及び市民ギャラリー入館者数 *総合計画指標 【重点施策3】	123,366人 (2018年度)	124,000人	126,500人

安城市文化振興計画（概要版）2021年（令和3）～2030年（令和12）

安城市教育委員会 文化振興課

〒446-0026 愛知県安城市安城町城堀30番地（安城市歴史博物館内）電話 0566-77-4477 FAX 0566-77-6600